

平成 24 年度事務事業評価調書

事業コード	02070104	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	ちびっこ老人憩いの広場維持管理事業	担当部署名	健康福祉課福祉・子育てグループ	
		作成責任者職氏名	課長 尾谷 義彦	内線 340
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)	
	02健康・福祉	07子育て支援の推進	01地域における子育て支援	
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和54年度～ 年度)		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	ちびっこ広場設置条例・要綱 義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>幼児及び老人に適切な遊び場を与えその健全な育成及び心身の健康を図ることを目的とする。</p> <p>②内容</p> <p>遊具設備等の維持管理</p>	<p>村民</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>健全な育成及び心身の健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している遊具の取り換え ・借地である3か所の広場のあり方(受益者負担) ・清掃活動委託の見直し

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
		22 年度	23 年度		24 年度	25 年度		
		実績	事業費(予算)	実績(見込)	事業費(見込)	事業費(見込)		
事業費(見込含む)(千円)(A)		550	478	239	250	250		
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
	一般財源	550	478	239	250	250		
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	311	311	311	311	311		
総コスト費(千円)(A+C)		861	789	550	561	561		
人口あたりコスト(円)		140	128	89	91	91		
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	23 年度			24 年度	25 年度
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	点検回数	回	12	6	50%	12	12
②	目標指標							
③	目標指標							

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	総合計画の子育て支援の推進で、身近な遊び場の整備により、子育てにやさしい生活環境の整備を推進しており、健全な育成及び心身の健康づくりに貢献している。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	2 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	一定の効果はあるが、村民ニーズがある公園整備を望んでいる。
③効率性 ※効率的に進められているか	2 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	遊具の老朽化が進み、今後修繕費及び撤去費が増加する。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	広場の土地借地料を受益者負担へ

○事務事業評価値 (①~④の合計/16) **10** / 16 **63%** (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
50%	63%	56%	c
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
D	← A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
児童の数が年々減少し、ちびっこ広場で遊ぶ児童も減少し利用されていない広場もある。今後は、老朽化した遊具の撤去(更新しない)や利用がほとんどない広場の廃止も含めた検討が必要である。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
施設のあり方を総合的に考慮し、老朽化した遊具の撤去等、廃止も視野に入れた見直しを検討すべきと考える。	C A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	C A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
施設のあり方を総合的に考慮し、老朽化した遊具の撤去等、廃止も視野に入れた見直しを検討す	C A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し

べきと考える。

U: 元号
D: 縮小
E: 休止・廃止